

このような討論がありました

討論の対象議案 議案第89号 「彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案」

特別職等の期末手当の改定はその必要性と根拠を明らかにした上ですべき。市民生活が厳しい中で増額は理解を得られないため反対。

反対

討論の対象議案 請願第5号 「彦根市の今後の文化行政のあり方に関する請願書」

賛成

彦根の文化振興と継承に関わる市民の方々の思いに寄り添い、議員の責務として市民の思いを市政に届けるため賛成。

提示の維持管理料なら市長のマネジメントの範ちゅう。市民の文化活動の継承発展のため、請願の趣旨は必要であり賛成。

他の事例に学び、文化プラザの活性化を第一に考えることこそが、執行部の言う総合的に考えることであり賛成。

映画の大学を誘致する計画の選択肢を削り、可能性を制限する結果を招くのではないかと懸念することから反対。

反対

討論の対象議案 決議案第1号 「ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議案」

賛成

軍で戦闘を即時停止させ、引き続き話し合いで戦争を終わらせるよう、日本からも多くの声を届ける必要性を付け加え、賛成。

人質として拉致されたり、戦闘で子どもを含む多くの人の命が奪われる惨状から、本議会の良識を示すため賛成。

決議案第1号について、全議員が提出者・賛成者となり 全会一致で可決

ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議

パレスチナ自治区ガザを支配するイスラム組織ハマスがイスラエルへ越境し襲撃したことによりイスラエル軍との武力衝突が始まり2か月以上が経過した。双方の応酬は、ガザ地区において多くの一般市民、特に子どもたちに大きな犠牲が生じていることは悲惨でその苦痛は想像を絶するものである。

このような事態を受け、11月8日に開催された先進7か国（G7）外相会合が、イスラエル各地に対するハマス等によるテロ攻撃およびミサイル攻撃を断固として非難することや、全ての人質の即時解放を求めることを確認するとともに、ガザ地区において悪化する人道危機に対応するため、戦闘の「人道的休止」および「人道回廊」の設置への支持に関し声明を発表した。また、11月15日には緊急の国連安全保障理事会が開催され、ガザ地区の子どもの人道状況を改善するために戦闘の休止を求める決議が採択された。

ガザ地区での人道危機の改善に向けては長期にわたる戦闘の人道的休止の維持および事態の早期沈静化が必要であり、国連やG7の認識と考えを一にするものである。

本市議会としては、このたびの紛争に対して、市民と共に、次に掲げるとおり一刻も早い事態の解決、紛争の終結を求めるものである。

- 1 戦闘行為の人道目的での休止および一般市民への非人道的行為の禁止
- 2 前提条件無しに全ての人質の即時解放
- 3 人道危機の悪化を防ぎ改善を図るため、国際法に基づき、事態の早期沈静化と人道支援物資の供給

以上、決議する。

令和5年（2023年）12月18日



一般会計補正予算の主な事業

ひこにゃん商標管理事業

40万円

ひこにゃん商標の使用許諾件数が当初の見込みを上回るため、商標管理に必要となる経費です。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額

・ひこにゃん商標管理業務委託料 411万7千円 - 371万7千円 = 40万円



▲今年度新たに制作された招き猫のポーズをしたひこにゃん

湖東定住自立圏病児・病後児保育事業

500万6千円

医療法人に運営委託している病児保育室の利用者が当初の見込みを上回るため必要な経費で、国庫支出金、県支出金および諸収入をもって賄います。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額

・病児・病後児保育委託料 1,649万9千円 - 1,149万3千円 = 500万6千円



市民税（個人）賦課事務事業

387万2千円

令和6年度から導入される森林環境税に対応するため必要となる経費です。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額

・システム変更委託料 605万円 - 217万8千円 = 387万2千円



文化財保護事業

2,100万円

特別史跡彦根城跡内における夜間公開に合わせて観光客等を呼び込む活動を企画する事業者に対し補助を行うため必要な経費で、全額企業版ふるさと納税寄附金で賄います。

(内訳) 所要額 既決予算額 補正額

・彦根城夜間公開活用事業費補助金 2,100万円 - 0円 = 2,100万円

物価高騰対応重点支援給付金支給事業

7億8,596万7千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を特に受けている低所得世帯（令和5年度住民税均等割非課税世帯）に対し給付金を給付するとともに、実質的に住民税非課税と同等の状況にある世帯（所定の期間に家計が急変し、直近の収入が非課税相当の水準に下がった世帯）に対し同様に給付金を給付するもので、全額国庫支出金をもって賄います。

・給付額 1世帯当たり7万円

予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、12月8日(金)、18日(月)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第84号、議案第85号、議案第86号、議案第87号、議案第88号、議案第100号

【主な質疑】

- 議案第84号に対して
 - Q ひこにゃん商標管理事業における許諾件数の増加要因は。
 - A 令和4年10月から商標使用料無償化の実証実験に伴い、飛躍的に申請件数が伸びている。また、新たなひこにゃんイラストを順次増やしていることや、全体的に観光需要が回復していることも要因の一つと考えており、今後も伸びる見込みがある。
 - Q 夢あかり館運営管理事業800万円の積算根拠は。

- A 指定管理の期間が4年間のところを2年を残して閉館するに当たり、その2年間で得られたであろう営業利益の一部を補償するもの。金額については相手と協議し、決定した。

【主な討論】

- 議案第84号に対して
 - 賛成 本件には人事院勧告に伴う職員の賃金の改善が盛り込まれており、物価高騰が続く多くの人が生活に苦労している中、若い職員や会計年度任用職員等の賃金が改善されることは評価できることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案等議案3件を可決、請願1件を不採択

市民産業建設常任委員会は、12月11日(月)に委員会を開催し、3件の議案および請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案93号、議案第96号、議案97号
- ・請願第5号

【主な質疑】

- 議案第93号に対して
 - Q 医療助成の内容は。
 - A 新たに高校生世代を追加するもの。このことにより、乳幼児から高校生世代まで、入院・通院の保険適用の部分については所得制限なく助成できることになる。
- 議案第96号に対して
 - Q 区分変更によって彦根市の財源としての収入はどれくらい増えるのか。
 - A 令和4年度決算を元にして試算すると約336万円の増である。
- 議案第97号に対して
 - Q サウンディング調査が終わり、いつ頃事業者が決まるのか。
 - A 令和6年3月頃に公募型プロポーザルを実施したい。

【主な討論】

- 請願第5号に対して
 - 反対 現在は、専門職大学を設置する候補地の一つであり検討段階である。この時点で本請願を審査することが、相手先の選択肢を狭めてしまうのではないかと懸念する。厳しい財政の中、今後の維持管理費が10年で35億円。できる限り市民の皆様に負担をかけないことが大切である。
 - 賛成 市民憲章にもあるように文化の香り高いまちをつくる。その一番根幹を担うのが文化プラザである。修繕等の費用は文化プラザ単体で見るとはならず、彦根市の総合的な公共資産の管理の中で見るべき。この請願は、個人的利益のために意見を述べているのではなく、専門職大学誘致を初め、市行政の今後のあり方を一緒に考えるための提案である。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第5号は不採択